

広島市古田公民館

このまちに くらしたい プロジェクト3

【キーワード】
多世代共生
人材育成



イベント参加者へのアンケートでは85%の方に公園のあり方に対して意識の変容が見られました。その理由には、「三世代と一緒に遊べる」「よその子どもや大人と接する時間が持てた」「中学生が地域づくりに参加していて感心した」などが挙げられています。

平成29年1月29日、2月26日、3月5日、3月26日
園児、小学生、中学生、高校生、大人延べ146名が参加

つどう

3月に1年間の集大成として古江西町公園で実施した冒険あそび場「ワンダふるたパーク」は、延べ100人を超える多様な世代の住民たちで大きな賑わいを見せ、楽しい空間をつくることができました。このプロジェクトは、中学生が学校や家庭以外の第三の居場所としてありのままの自分を発揮しやすい場に成長しているようです。



まなぶ

関わる大人たちが「自分たちが中学生の頃にこんな場所がほしかった」と口を揃えて言うほど、中学生にとって地域の大人と関わり合うことは、話し合いのスキルアップをはじめ、人間形成に役立つ機会となっています。

むすぶ

中学生が中心となって提案する冒険あそび場「ワンダふるたパーク」は、地域で多世代間交流の機会が減少しつつある中、子育てや孫育て中などの幅広い世代をつなぐ地域の居場所として、大人たちの共感を呼び、地域に根づきつつあります。